

目次

解説

地域教育連携 報告シートについて	・・・ 3
------------------	-------

報告シート

・ 道北おとぼけキャラバン	・・・ 4
・ 小学校金管バンドの指導支援ボランティア	・・・ 5
・ 旭川地域連携アートプロジェクト 『つかまえる 風水森をめぐるイメージ』鑑賞プログラム	・・・ 6
・ JA北海道およびあさひかわとの「稲作体験塾」	・・・ 7
・ 旭川市地域連携アートプロジェクト 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館巡回展出前授業プログラム	・・・ 8
・ 通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	・・・ 9
旭川市地域連携アートプロジェクト ・ 中原悌二郎賞関連ワークショッププログラム 「美術のカタチ ～芸術って何だろう～」	・・・ 10
・ はらぺこクッキング夏「はらぺこクッキング～はらぺこ夏祭り2016～」 はらぺこクッキング冬「はらぺこクッキング～ようこそ！はらぺこHappizza工房！～」	・・・ 11
・ 北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	・・・ 12
・ 中頓別放課後子ども教室 子どもチャレンジ教室2016 夏	・・・ 13
・ 「科学で遊ぶ夏2016」への参加	・・・ 14
・ 夏休みチャレンジ教室	・・・ 15
・ 浜頓別町夏休み学習サポート事業	・・・ 16
・ 旭川市通学合宿	・・・ 17
・ 枝幸町大学生フレンドシップ事業	・・・ 18
・ 講演&ワークショップ 理想のコミュニティを“創る”ためにII	・・・ 19
・ 旭川西高校ゼミ体験学習	・・・ 20
・ 「科学・ものづくりフェスタ@北教大」への参加	・・・ 21
・ 鷹栖町土曜学習教室「がんばるど」	・・・ 22
・ 北星地域のウォーキングルートマップ（フットパス）を作成しよう ー北星まち協×教育大生ミーティングー	・・・ 23
・ 第13回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア	・・・ 25
・ エデュケーションカフェ	・・・ 26
・ 浜頓別町小中学校長期休業中学習会	・・・ 27
・ 北海道教育委員会「ボランティアバンク事業」にかかる道北地域の学習サポート	・・・ 28
・ 平成28年度放課後子ども教室 「子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2017 冬」	・・・ 29
・ 「科学で遊ぶ冬&ジフェスティバル」への参加	・・・ 30
・ 中学校保健体育科「相撲」出前授業	・・・ 31
・ 教員志望者のグループディスカッション	・・・ 32

付属資料

・ 学生ボランティア派遣事業（概要）	・・・ 33
・ 平成28年度 授業公開講座／一般公開講座一覧	・・・ 36
・ 平成28年度大学訪問受入／出前授業一覧	・・・ 37
・ 平成28年度 審議会等派遣一覧	・・・ 38
・ 平成28年度 講演会講師・助言者等派遣一覧	・・・ 41

【解説】地域教育連携 報告シートについて

このシートは、北海道教育大学旭川校の教員が主体として、または橋渡し役として行っている地域教育連携活動をまとめたものです。内容は、自治体や教育関係団体と本学教員が共同で行っている事業、本学教員による研修会・講演会、学生の派遣事業など多岐にわたっております。

なお、本報告は教員の自主申告に基づいており、必ずしも現在行われている地域教育連携事業のすべてを網羅したものではありません。また、内容が一部重複するところもあります。

シートの見方

各項目には以下が記載されています。

テ ー マ：地域連携事業、研修会の名称

日 時(期 間)：事業が行われた日時もしくは期間

場 所：事業が行われた場所

参 加 人 数：事業に参加した人数の総計

担 当 者：事業にかかわった本学教員及び関係者

概 要：事業のおおよその内容

成 果：事業がもたらした成果

(報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	芸術・保健体育教育専攻(音楽分野) 芳賀 均
事業名称	道北おとぼけキャラバン
日付	28年4月～29年3月
内 容	<p>音楽分野の音楽科教育担当教員(芳賀)と、外部の協力者(ヴァイオリニスト・早川氏)、および音楽分野の有志学生により、平成28年度は、(学生も関わったものとしては)主に以下の活動を行った。</p> <p>H28.4 「出前授業」ほか(名寄東小学校) H28.6 「出前授業」(留萌緑丘小学校) H28.6 「出前授業」(名寄東小学校) H28.6 「学生楽団」(名寄東小学校) H28.8 「ピアノ演奏会」(浜頓別町役場町民ホール) H28.9 「学生楽団」ほか(稚内東小学校) H29.3 「ヴァイオリン演奏と学生アンサンブルのコラボ」(北見市端野石倉交流センター)</p> <p>本事業は、平成26年12月より、「道北おとぼけキャラバン」と称する、アウトリーチによる地域貢献としての音楽演奏の実践である。これまでの取組は、研究紀要や新聞の報道の文章からも、「演奏の出前」「芸術の普及」「需要の発掘」を達成するものとなっていると考えられる。また、音楽の分野に留まらず、地域貢献としての効果を得られたと考えられる。</p> <p>一方、本実践の意義として「演奏する学生にとっても、授業等の実践力の向上を図る場にする」「学生にとっては、通常の大学の授業によるみでは得られにくい経験ができる。音楽の授業に近い形態で行う本コンサートの取組においては、授業方法について学べ、聴衆を相手にして実践する中で、それを経験することができる」といった点も挙げられ、教職への意識や地方への関心等に向上が見られた。</p> <p>各地方の新聞に、しばしば報道された。また、実践全体としては北海道新聞の全道版(夕刊)に紹介された。引き続き、来年度に向けても、問い合わせが来る状態となっている。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

(報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	芸術・保健体育教育専攻(音楽分野) 芳賀 均
事業名称	小学校金管バンドの指導支援ボランティア
日付	平成28年4月～平成28年11月 主に火曜日、および土曜日にも実施。
内容	<p>音楽分野の1年生が、4～11月にかけて、旭川市立近文小学校において、少年団活動として旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援を行う活動である。この少年団は、3～6年生の希望者で構成されるが、特に最上級生が卒業して3年生の初心者が加入してくる春の活動が困難さを抱える。指導者は教員2名とボランティアの保護者若干名であるが、そこに、外部ボランティアを導入することにより、譜読みや演奏法等に関する指導上の効果を上げるとともに、学生の意識改革を促すことを目的としている。</p> <p>また、秋のコンクールに向けて、学生も感情移入しながら一緒に取り組むことにより、教育という営みの有機的な面に気付いてもらいたいと考えている。</p> <p>なお、この事業は「教育フィールド研究Ⅱ」の一部として実施している。本学旭川校は中学校の教員養成に力を入れているが、本活動を通して、教科の専門的な内容だけでなく、教育という営みそのものに学生の意識が向いたことが大きな成果である。1年生の4月という、まだ教育実習を経験しないどころか入学早々の時期から、継続的に(やがては中学生へと育っていく)小学生の子供たちと触れ合ったことにより、受け手の気持ちに気付き、一方的な指導に陥らない感覚をもつことができたようである。</p> <p>また、オープンキャンパス参加者および入学希望者からは、この活動をしてみたいとの声が多く聞かれた。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川地域連携アートプロジェクト 『つかまえる 風水森をめぐるイメージ』鑑賞プログラム
日時 (期間)	平成28年5月14日(土), 21日(土), 28日(土), 29日(日) 6月4日(土) 10:00~12:00
場 所	北海道立旭川美術館
参加人数	参加生徒376名 指導者35名(旭川美術館学芸委員3名, 中学校教員23名, 教育大学教員1名, 教育大学学生8名)
担当者	名達英詔
概 要	<p>本プログラムは、児童生徒の鑑賞能力向上を目指し、道立旭川美術館学芸員、旭川市内中学校美術科担当教員、北海道教育大学旭川校教員及び学生が協力開発したものであり、旭川市内・周辺郡部中学校美術部生徒が旭川美術館企画展「つかまえる 風水森をめぐるイメージ」展の作品をギャラリーツアー・自由鑑賞・ワークショップの三つの内容によって鑑賞した。</p> <p>美術館に参集した生徒はグループに分かれて展示室に入り、美術館学芸員、中学校教員、大学教員・学生のナビゲートにより作品を見ながら、それぞれの感想や意見を交わし合うギャラリーツアーに参加したり、個別に自らの興味・関心に沿った作品を鑑賞する自由鑑賞を行ったりした。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒においては、作品の見方や考え方が深まり、自ら進んで鑑賞しようとする姿が見られた。また、例年参加している生徒においては、回を重ねることによって学習が積み上がる様子も見られた。 ・ 学生が中心となって開発したワークショップでは、多様な表現意図や鑑賞者の意見が交わされ、表現と鑑賞をつなぐ場が得られた。 ・ 参画する組織による柔軟な協力と運営の合理化により、効果的なプログラムが実現した。

広 報 報 告 シ ー ト

担当者（課）名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子・小泉 匡弘
事業名称	JA 北海道およびあさひかわとの「稲作体験塾」
日 付	平成 28 年 5 月 29 日（日）・9 月 25 日（日）・12 月 18 日（日）・平成 29 年 1 月 7 日（土）・1 月 22 日（日）・1 月 29 日（日）
内 容	<p>本学と相互協力協定を締結している JA グループ北海道およびあさひかわの協力を得て「稲作体験塾」を実施し、旭川校の生活・技術教育専攻を中心に、国語教育・英語教育・社会科教育の 38 名の 1～2 年生の学生が参加した。</p> <p>この「稲作体験塾」は、旭川校では平成 27 年度秋から試行で実施されたが、今年度から「教育フィールド研究Ⅰ（JA 連携）」として完全実施となった。将来、教員となり北海道の教育を支えていく学生にとって、自ら命あるものを育ていただく経験は、現代的教育課題である食農教育を、身を持って実感しながら学ぶ貴重な機会となっている。</p> <p>稲作の 1 年を追うように、活動のコーディネイトを JA あさひかわさんにしていただき、5 月の田植え、9 月の稲刈りと食事会、12 月の稲藁リース制作、1 月にそばうちをしていただいた。田植えと稲刈りは、旭川市永山の秦真一さんの圃場で行った。また、そばうちは旭川市江丹別の若者の郷で実施した。</p> <p>その間には、美味しいご飯とお味噌汁の作り方やビート（砂糖大根）から砂糖づくりを、農業栄養士の高倉晴美氏にご指導を受けたり、そば打ちの学習を生かして道産小麦を使ってうどんづくりにも挑戦した。</p> <p>田植えや稲刈りもあまり経験したことのない学生も多かったが、今年度は天候も問題なく、非常に学びの多い体験となったようだ。</p> <p>次年度は、野菜の栽培や収穫体験なども踏まえ、さらに食育も充実させることを目指している。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川市地域連携アートプロジェクト 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館巡回展出前授業プログラム
日時 (期間)	平成28年6月25日(木)～12月10日(木) 各実施校の授業時間内
場 所	旭川市内小中学校, 特別支援学校
参加人数	参加児童生徒1084名 指導等参加者24名(彫刻美術館学芸員2名, 小中学校教員12名, 教育大学教員2名, 教育大学学生8名)
担当者	名達英詔
概 要	<p>地域の美術文化振興を目指して中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館が実施する市内小・中学校への彫刻作品貸出巡回展事業を有効活用するための鑑賞プログラムである。子どもの鑑賞の広がりや深まりを促すことをねらいとして市内小中学校教員, 彫刻美術館学芸員, 教育大学教員および学生によって開発され, 全体ガイダンス・対話型鑑賞・体感型鑑賞によって構成されている。</p> <p>対話型鑑賞は, 展示された彫刻をグループで鑑賞しながら感想や意見を交わす活動であり, 体感型鑑賞は, 彫刻に触れることを通して様々な発見や感覚, 考え, 知識を得る活動である。</p> <p>いずれも鑑賞者の発達に応じた授業案が用意されており, 指導役の美術館学芸員, 小中学校教員, 大学教員・学生のナビゲートにより教室やロビーなど学校施設内に展示された彫刻を用いて実施されている。</p> <p>本年度は, 市内17の小中学校・特別支援学校の児童生徒を対象に延べ37回の授業が実施された。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加児童・生徒・教職員の活動の様子, 事後アンケートの結果から参加者の満足度が高く, 彫刻の鑑賞に対する意欲の向上, 美術館及び美術作品への関心の高まりといった学習効果が見られた。 ・ 参加スタッフにおいては, 鑑賞授業実践への意欲化が図られた。 ・ 鑑賞授業の実施を通じた学生の教育実践力向上が図られた。

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」
日時（期 間）	2016年7月3日～8日
場 所	永生寺
参加人数	学生1名 小学生21名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、浜頓別町教育委員会が主催するもので、「子どもたちが、異年齢の集団の中で共同生活をしながら通学をする生活体験により、協調性や社会性を養うことを目的とする」ものである。小学校4年生から6年生が対象で、本年度は21名が参加した。</p> <p>本学は、浜頓別町との相互協力協定に基づき、本事業に対して学生の派遣を継続して行ってきた。本年度は、音楽分野の女子学生が全日程に参加した。</p> <p>本年度は以下のようなスケジュールとなっている。</p> <p>7月3日 オリエンテーション・夕食作り・銭湯体験</p> <p>7月4日～7日 朝食作り・夕食作り・銭湯体験・後片付け</p> <p>7月8日 朝食作り・まとめ</p> <p>学生は、活動全般で小学生をサポートした他、事業期間中1日に2回更新される浜頓別町教育委員会社会教育係ブログ・Facebook等のアップ作業も行った。</p>
成 果	<p>事業終了後、担当者からは、「本事業を実施するうえで大学生の力は欠かせないものとなっております。次年度以降もご支援のほどよろしく願いいたします」とのお言葉をいただいている。</p> <p>なお、浜頓別町教育委員会社会教育係ブログは以下の URL から閲覧可能である (http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/)。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川市地域連携アートプロジェクト 中原悌二郎賞関連ワークショッププログラム 「美術のカタチ ～芸術って何だろう～」
日時 (期間)	平成28年7月30日
場 所	北彩都子ども活動センター ASOBI～BA (あそび～ば)
参加人数	参加生徒約46名 指導等参加者33名(アーティスト1名, 旭川市彫刻美術館学芸員・職員4名, 中学校教員7名, 教育大学教員2名, 教育大学学生19名)
担当者	岩永啓司、南部正人
概 要	旭川市彫刻美術館が主催する中原悌二郎賞の受賞アーティストとともに旭川市内・周辺郡部中学校美術部生徒がワークショップを行うことにより、生徒の鑑賞表現能力向上を目指すプログラムである。 本年度中原悌二郎賞受賞アーティストである青木野枝氏によるレクチャーの後、氏の監修のもと、インスタレーションを美術部ごとに制作。その後、参加生徒の感想発表や氏の講話も交えた鑑賞会を行った。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加生徒は、アーティストと対話をしたことにより、美術表現の豊かさを知ることができたとともに、そこに込められた作者の意図について見つめることができた。 ・ 複数の学校から生徒が一同に会し、対話したことにより、様々な表現を見合う機会が生まれたとともに、学校間の交流が図れた。 ・ 旭川市の事業である中原悌二郎賞と連携した教育プログラムとして 継続的な実施が図られた。 ・ 運営に学生が携わることによりワークショップを活用した教育活動 に対する実践的なスキルアップが図られた。 ・ ワorkshopに対する企画運営方法の合理化が進んだ。

(報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子
事業名称	はらぺこクッキング夏「はらぺこクッキング ～はらぺこ夏祭り2016～」 はらぺこクッキング冬「はらぺこクッキング ～ようこそ!はらぺこHappizza 工房!～」
日付	平成28年7月30日(土)・平成29年1月28日(土)
内 容	<p>この講座は、平成20年度に始まったもので、今年度で9年目となる。旭川校の生活・技術教育専攻の家庭科教育第2ゼミナールの学生10名が主体となって、企画立案・案内・実施までを行う、食をテーマとした活動である。対象者は大学近郊の小学生4～6年生を対象とし、基本的には、夏と冬の年に2回のペースで実施している。</p> <p>平成28年度の夏は、「～はらぺこ夏祭り2016～」として、セタをテーマに、暑い夏を健康に乗り切るために、冷やしラーメンとフルーツスムージーを作った。ラーメンはかんすいなどを使って手作りもした。参加児童は15名であった。</p> <p>また、平成28年度の冬は、「～ようこそ!はらぺこHappizza 工房!～」として、子ども達からも要望の多い、デザートをあったかいピザとして考案して、デザートピザ～アイス添えて～として、アップルカスタードピザ・チョコマシュマロピザ・アイスクリームを作った。ピザの記事、マシュマロ、アイスクリームも手作りすることを試みた。参加児童は29名であった。</p> <p>子ども達と一緒に料理を作っていくことが活動の大部分を占めるが、試食の時間等を利用し、調理に用いた食材や取り上げた料理等について、クイズ形式で学んでももらったり、学べる活動を目指している。対象としては、基本的には小学校4年生以上の小学生であるが、調理工程によっては学年を下げたり、上げたりもしている。開催場所は、大学近くの北星公民館以外の公民館や大学または小学校を利用することもあるが、学生自らがチラシなども作成し広報にあたっている。</p> <p>最近では、北星公民館との共催事業となり、色々なアイデアなど意見交換をすることが可能となり、また広報方法も旭川市の「あさひばし」も利用できるなど、さらなる改善・発展が望めるようになった。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	北オホーツク 100km マラソン 大会ボランティア
日時 (期 間)	2016 年 7 月 30-31 日
場 所	浜頓別町
参加人数	教員 1 名・学生 8 名
担当者	社会科教育専攻社会学ゼミ
概 要	<p>本事業は、浜頓別町が主催するウルトラマラソンで、今回で第 5 回となる。近年のマラソンブームもあり、また、本大会も年々認知度が高まり、700 名を超える参加者が集まる。5 時から始まり 19 時をリミットとする大会であり、さらには、参加者の増加も相俟って、ボランティアに対する需要が増加し、町内のボランティアのみでは運営が難しい状況になっている。</p> <p>2013 年度末に浜頓別町を訪れた際、本大会への学生ボランティア派遣について話があり、以来、本学旭川校の社会学ゼミが代表して大会に参加することとなっている。</p> <p>本年度割り当てられた役割は、以下のとおりである。</p> <p>30 日 前夜祭の準備・レセプション・後片付け手伝い</p> <p>31 日 A 班 仁達布エイドステーション手伝い (7:10-15:10) B 班 仁達布エイドステーション手伝い (10:40-18:40) C 班 大会会場リザルト掲示 (11:00-19:00)</p> <p>今年度は天候に恵まれ、特に午後は日差しが強まる中、学生たちは大会運営に貢献してくれた。</p>
成 果	<p>本事業への参加は 3 年目を無事に終え、浜頓別町にとっても、運営スタッフの一員として期待できる存在となっていると思われる。また、社会学ゼミにとっては、今年度は残念ながら日程が合わない学生が多く、3 年間で最少の人数になってしまったが、ゼミの年中行事の一つとして恒例化することになり、持続的な参加が可能な形となっている。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	中頓別放課後子ども教室 子どもチャレンジ教室 2016 夏																	
日時 (期間)	2016 年 8 月 3-4 日																	
場 所	中頓別町町民センター・中頓別町町民体育館 他																	
参加人数	大学生 2 名																	
担当者	地域連携・貢献推進委員会																	
概 要	<p>本事業は、小学生を対象として、①夏休みの学習の場として、「苦手な勉強の克服」にチャレンジする、②水泳にチャレンジする（「自分自身で目標を立てる」）、③川釣りにチャレンジする（「自然の生き物とどうやって遊ぶかを考える」）を目標としている。事業の進行は以下の表のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">1 日目：8 月 3 日（木）</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">2 日目：8 月 4 日（金）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:15 オリエンテーション</td> <td>9:25 集合</td> </tr> <tr> <td>9:30～水泳を楽しもう</td> <td>9:30～水泳記録に挑戦！！</td> </tr> <tr> <td>12:00～昼食（おにぎり持参）</td> <td>12:00～昼食（おにぎり持参）</td> </tr> <tr> <td>13:00～道北地域の動物を知る</td> <td>13:00～努力賞授与 学習会</td> </tr> <tr> <td>15:00～夕食づくり ※食材調達から始める</td> <td>15:00 解散</td> </tr> <tr> <td>17:30～夕食会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19:00 片付け・解散（送り）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>学生は、学習サポートや運動・レク活動の補助を主な役割として担った。</p>		1 日目：8 月 3 日（木）	2 日目：8 月 4 日（金）	9:15 オリエンテーション	9:25 集合	9:30～水泳を楽しもう	9:30～水泳記録に挑戦！！	12:00～昼食（おにぎり持参）	12:00～昼食（おにぎり持参）	13:00～道北地域の動物を知る	13:00～努力賞授与 学習会	15:00～夕食づくり ※食材調達から始める	15:00 解散	17:30～夕食会		19:00 片付け・解散（送り）	
1 日目：8 月 3 日（木）	2 日目：8 月 4 日（金）																	
9:15 オリエンテーション	9:25 集合																	
9:30～水泳を楽しもう	9:30～水泳記録に挑戦！！																	
12:00～昼食（おにぎり持参）	12:00～昼食（おにぎり持参）																	
13:00～道北地域の動物を知る	13:00～努力賞授与 学習会																	
15:00～夕食づくり ※食材調達から始める	15:00 解散																	
17:30～夕食会																		
19:00 片付け・解散（送り）																		
成 果	<p>2014 年度からスタートした本事業には、本年度音楽分野の女子学生 2 名に参加してもらったが、中頓別町の担当者からは、「学生お二人とも、1 年生とは思えないどうどうとした行動に感心しております」とのお言葉をいただき、同時に、冬の事業の協力も要請されている。</p>																	

報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者（課）名	浅川哲弥(旭川校理科教育専攻)
事業名称	「科学で遊ぶ夏 2016」への参加
日付	平成 28 年 8 月 7 日(日)
内 容	<p>平成 28 年 8 月 7 日(日) 10 時 ~16 時 30 分に旭川市科学館 〈サイパル〉 特別展示室・学習研修室で開催された, サイエンスボランティア旭川, 旭川市教育委員会(主管:旭川市科学館)が主催する「科学で遊ぶ夏 2016」に, 旭川校の理科教育専攻, 浅川及び化学浅川ゼミの院 1 年, 2~3 年生 16 人の学生参加し, 「紫キャベツで虹を作ろう」, 「バルーンスライムを作ろう」の 2 テーマで, 子供たちを相手に一緒に活動を行いました。</p> <p>これは化学的な内容で様々なものづくりや演示実験を行うというゼミ活動の一環として行ったものです。</p> <p>当日は, 保護者を含めて 1, 150 人の来場者があり, 子供たちと一緒に活動することができました。</p>



【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

(報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	利尻富士町教育委員会
事業名称	夏休みチャレンジ教室
日付	平成28年8月8日～12日
内 容	<p>平成28年8月8日(月)～12日(金),利尻富士町立鴛泊小学校において「夏休みチャレンジ教室」が開催されました。この教室は、今年で8年目となる短期集中講座で,教員をめざす学生とのふれあい,自然とのふれあいを持ち,学ぶ意欲がある子どもたちに対して,学習機会や様々な体験を提供することをねらいとした事業です。今回は,本学の学生7名を派遣しました。</p> <p>教室には,99名の児童生徒が参加しました。5日間の活動メニューは,学習支援として夏休みの課題取組,苦手教科克服のほか,ゆめいろランプ,ひかるうちわ,キーホルダー作りや道庁赤れんが前の遊歩道に敷くためのレンガに利尻富士町のイメージを刻む作業などを実施しました。</p> <p>学生考案のスポーツ体験や宗谷教育局によるスポーツ&ゲームフェスティバル,そのほか,水てっぽう・水ばくだん遊びとプールゲーム,海水浴など多岐にわたります。4日目の夜は恒例のバーベキューとテントに寝泊りするキャンプ体験をしました。</p> <p>今後も事業の継続に向け,地域の明日を担う子どもたちを心豊かで健やかにはぐくむことを目指し,大学や地域との連携をより一層充実するため,更なる事業の充実に寄与していく所存です。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	浜頓別町夏休み学習サポート事業
日時 (期 間)	2016年8月15日~17日
場 所	浜頓別小学校・浜頓別中学校
参加人数	大学生2名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、町内の小学生を対象に、夏休み期間中を利用した、児童・生徒たちの自主的な学習をサポートするものである。浜頓別町では、2014年度の冬に本事業を初めて開催し、2015年度からは夏にも事業を実施することとなった。午前中に小学生、午後には中学生の学習指導補助を行う。</p> <p>浜頓別町からは、3名*3日、延べ9名の派遣を要望されたが、1名*3日、1名1日、延べ4名の派遣にとどまった。</p> <p>なお、本事業は、道教委の学生サポーター地派遣事業を活用したものであるが、浜頓別町教育委員会から直接依頼を受けて、学生派遣を行っている。</p>
成 果	<p>今年度は、浜頓別町会長100周年事業の関係で、事業の開催時期がお盆にずれ込んだこともあり、学生の帰省時期に重なり、思いうような人員の確保ができなかった。要請に十分に伝えるべく、さらなる工夫が必要であると思われる。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川市通学合宿
日時 (期 間)	2016 年 8 月 25-27 日
場 所	春光台公民館・啓明地区センター
参加人数	4 名 (高台 2・啓明 2)
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、地域住民によって構成される通学合宿実行委員会が主催者となって行われるもので、旭川市および市内各地区に設置されているまちづくり推進協議会との共催事業でもある。①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに家族と離れて集団生活を送ることで、家族への思い、自立性・協調性を高める、②子離れ体験を通じて子供への関わり方を見つめ直すとともに、わが子の大切さを感じるきっかけづくりを行う、③地域住民や様々な団体が連携して少年の育成に取り組むことで、地域で子供を育てる意識を高めるとともに、地域の連帯感を高める、という 3 つの目的を持って実施されている。</p> <p>本年度は、高台小学校・啓明小学校の 4-6 年生を対象として実施され、本学に対しては、それぞれの地域において各 2 名ずつの学生派遣を要請された。なお、本事業に参加した 4 名のうち、1 名は教育フィールド研究Ⅲの対象事業として派遣を行った。</p>
成 果	<p>本年度で 2 年目となった本事業だが、今年度は 3 名が、教員志望の 4 年生であったこともあり、比較的質の高い学生の派遣ができたかと自負している。</p>

地域教育連携 報告シート

事業名	枝幸町大学生フレンドシップ事業
日時（期間）	2016年9月6日～9日
場 所	枝幸町立の小・中学校 10校
参加人数	学部生 11名 大学院生 2名 教員 3名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、本学旭川校と枝幸町による協力協定に基づき、枝幸町教育委員会が主催し、これで9回目となる。今年度は、保健体育2グループ・音楽2グループ・技術1グループの3分野5グループが参加した。そこでの内容は、訪問校の計画による活動と、学生が計画し実施する学生プログラムに分けられる。</p> <p>今年度の学生プログラムは、保健体育Aグループが短縄跳びと長縄跳びを組み合わせた運動を、保健体育Bグループがタグラグビーとそのタグを使ったしっぽ取り鬼ごっこを実施した。</p> <p>音楽グループは、リトミックを取り入れた活動、楽器の体験を交えた音楽鑑賞活動、トーンチャイムにつながる活動、ストロー笛をつかって演奏する活動、自分たちの学校の歌をつくる活動などを、訪問先の学校の実情に応じてアレンジしながら、AグループとBグループに分かれて実施した。</p> <p>技術グループは、レゴ・マインドストーム NXT を用いて車両型ロボットを作製した。このロボットには、スマートストップ（障害物の手前で停止）、ライントレース（黒い線にそって動く）などのプログラムを組み込むことを試みた。（技術グループの4年生は、今年度も教職実践演習の一環として活動）</p> <p>これらの実施にあたって枝幸町教育委員会は、各学校との調整、旭川から枝幸町への移動も含めた参加学生の移動について、また本学では、学生プログラムの開発・実施、参加者の宿泊費について分担している。</p>
成 果	<p>今年度は、訪問校を減少させることなく、経費をどのように削減するかが課題であった。これについて、宿泊先では大部屋の使用により、宿泊費を抑える事で対応ができた。</p> <p>また、音楽グループと技術グループが、新聞記事として取り上げられ、より多くの人に本事業を知って貰うこととなった。</p> <p>さらに、どのグループも受け入れ校から好評であったため、枝幸町からは次年度以降も本事業を継続して欲しいと切望されている。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	講演&ワークショップ 理想のコミュニティを“創る”ためにⅡ (北星地区社会福祉協議会主催)
日時(期 間)	2016年10月24日
場 所	北星地区センター
参加人数	20名
担当者	角 一典
概 要	<p>本事業は、北星地区社会福祉協議会主催の地域づくりに関する集いであり、北星・旭星地区まちづくり協議会と北星・旭星地域包括支援センターが共催となっている。2014年にも同様の依頼があり、今回は前回は踏まえた上で、より実践的な内容をということで、①「素人」でもできることはあるか？、②若い人たちをどのように巻き込むか？③発信力・広報力をどのようにして高めるか？、という3つの課題について議論する内容とした。</p> <p>今回の講演でも、北星地区の町内会役員等を中心にお集まりいただき、身近に直面している課題や成功例などを含めて、実践の方向について、話し合いやラベルワークなどの時間を十分に取り形にした。なお、話し合いやラベルワークには、北星・旭星地域包括支援センター職員2名も参加し、運営の支援をしていただいた。</p>
成 果	<p>参加者の多くは積極的にワークショップに関わっていただき、地域の課題や今後の方向性について熱の入った話し合いが展開された。感想として、こういう機会がなかなかない中で、お互いの情報共有ができたことを評価する声も聴くことができた。この成果をそれぞれの地域に持ち帰り、状況改善に結び付けていただけることを期待する。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	旭川西高校ゼミ体験学習
日時 (期 間)	2016年10月28日
場 所	北海道教育大学旭川キャンパス
参加人数	36ゼミ・高校生240名
担当者	広報委員会
概 要	<p>本事業は、旭川西高校との高大連携事業の一環として取り組まれているものであり、西高の1年生を対象に、大学におけるゼミ活動に直接あるいは間接に参加し、大学における学習を体験させることを目的としている。</p> <p>今年度は、高校生の受け入れに応じてもらった36のゼミに3-10名の高校生を割り振り、ゼミ活動を体験してもらった。</p>
成 果	

(報告様式)

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	浅川哲弥(旭川校理科教育専攻)
事業名称	「科学・ものづくりフェスタ@北教大」への参加
日付	平成28年10月29日(土)
内容	<p>平成28年10月29日(土)に、旭川市科学館(サイパル)において、「科学・ものづくりフェスタ@北教大」が開催されました。</p> <p>このイベントは、北海道教育大学・愛知教育大学・東京学芸大学・大阪教育大学の連携事業「HATOプロジェクト」の取り組みの一つである「理科離れ克服の科学・ものづくり教育の推進プロジェクト」(愛知教育大学主催)の一環として開催したものです。</p> <p>当日は北海道教育大学札幌・旭川・釧路校の理科、生活技術分野と、愛知教育大学、大阪教育大学の教員・学生によるブースが出展され、身近な物を使った実験や、科学の仕組みを利用したものづくりなどが行われました。来場した多くの子どもたちは、友達や保護者の方々と一緒に様々なものづくりや実験を体験し、楽しみながら理科やものづくりの面白さを学んでいました。</p> <p>浅川ゼミでは、教員、院生・学生17名が、「バルーンスライムを作ろう。」、「ブラバンからキーホルダーを作ろう。」、「ジェルキャンドルを作ろう。」の3つのテーマで参加しました。</p> <p>これは化学的な内容で様々なものづくりや演示実験を行うというゼミ活動の一環として行ったものです。</p> <p>当日は、300人を超える来場者があり、子供たちと楽しく活動を行いました。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	--

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	鷹栖町土曜学習教室「がんばるど」
日時（期 間）	2016年11月および2017年2月の各土曜日
場 所	鷹栖地区住民センター
参加人数	大学生3名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、小学生の3-6年生の希望者を対象に、「もう一度教えてもらいたい」「もっとできるようになりたい」という願いを聞き入れる場を提供することにより、児童の学習理解を深め、学習意欲を促し、その学年にふさわしい学力の習得を目指すべく、本年度から開始されたものである。学習活動のほか、毎回の活動の終わりにミニゲームなどを組み込む。</p> <p>鷹栖町のスタッフとして、学習支援員・特別支援教育支援員・学校教育指導主事が参加し、本学学生はアシスタントとして参加する。初回となる本年度は、7.10.11.2月の土曜日での実施で、このうち11.2月の会に本学学生が参加した。</p>
成 果	<p>本事業の参加学生3名については、11月分は社会科教育専攻の教育実践演習の一環としての参加となっており、カリキュラムへのボランティアの組み込みの一環としての実践となっている。</p>

広 報 報 告 シ ー ト

担当者(課)名	旭川校 生活・技術教育専攻 川邊 淳子・小泉 匡弘
事業名称	北星地域のウォーキングルートマップ(フットパス)を作成しよう ー北星まち協×教育大生ミーティングー
日付	平成28年11月8日(火)・15日(火)・17日(木)・24日(木) 平成28年12月21日(水)・平成29年1月11日(水)
内 容	<p>北海道教育大学旭川校は旭川市北星地区に所在している。学生は地元出身者も多く自宅から通学する者も多いが、大学の周辺の下宿等で居住したりバイトをしている学生も多く、生活圏として北星地区がある。しかしながら、学生たちの関心事として、地域の中にある大学としての意識が弱く、さらに地域の良さの発見というところには至らないのが現状である。</p> <p>一方、北星まちづくり推進協議会としては、地域に根差した問題や良さの発見ということに敏感であり、多くの小・中学校との関わりはあるものの、大学は地域の財産と捉えていただきながら、なかなか有機的な関わりを持っていない現実がある。</p> <p>また、小学校家庭科においても、地域の人々との関わりの中で、様々なつながりを感じ、将来につながる地域の問題や良さを発見・追究・解決・発信という、問題解決的な学習を展開している。</p> <p>そこで3年目の今回は、「初等家庭」受講生を対象として、北星まちづくり推進協議会の委員の皆様のご協力のもと、旭川市役所地域まちづくり課の皆様にご協力いただき、旭川市役所地域まちづくり課の皆様にコーディネーターを共にしていただく中で、「北星地域のフットパスを作ろう!」というテーマとした。主な参加者は、大学生143名・北星まちづくり推進協議会および地域住民の方々20名・旭川市役所地域まちづくり課4名・大学教員2名であった。</p> <p>まず学生は北星地域の「残したい風景10選」と題して、10個程度北星地区のお気に入りの写真を学生が各自撮影し、その選定理由も考えてきた。裏テーマとしては、写真を撮るために地域内を動いてくれることを期待していた。その後、グループワークとして、各自選んだ10個の風景を各グループ内でプレゼンテーションを行い、北星地域のウォーキングルートマップ(フットパス)を作成した。その上で、模造紙(北星地区の地図を印刷したものを準備)に付せんや写真を貼り付け、各グループで10個を選び模造紙にルート設定した。必ずテーマやストーリーを考えた上で検討を行い、模造紙に整理したルートマップを作成した。最終的には、講義で出て来た2クラス20のフットパスの提案を基に、まち協の皆さんとさらなる懇談会を2回開催した。そこに参加した学生は「環境マネジメント」を受講している学生等であった。今まではどちらかというと、地域の課題創出に力点が置かれた活動ではあったが、それを解決に導く術を、大学生が地域住民</p>

	と共に考えていくという，さらなる一歩を踏み出した。 北星のまちづくりの一助となる学びを，授業を通して協働 で創り出していくことを目的としたものである。
--	---

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	第 13 回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア
日時 (期間)	平成 28 年 11 月 20 日
場 所	旭川市立緑が丘中学校
参加人数	管内中学生 52 名, 中学校教員約 20 名, 本学学生約 20 名
担当者	北海道教育大学旭川校 渡壁 誠 (同実行委員会実行委員長), 川邊淳子 (副実行委員長), 芝木邦也 (同顧問)
概 要	<p>本事業は第 7 回フェアから毎年 10 月に開催されている。今年度は全国中学校技術・家庭科研究会全国大会が 10 月に予定されていたため, 11 月開催となった。中学校技術・家庭科の学習成果を競う, 上川管内の中学生の競技会である。また, 教員サイドからは教員の教科指導や評価の研鑽の機会として位置づけられ, 本年度で 13 回目の実施となる。競技会は家庭分野の包丁名人 (自分のための「お弁当」をつくろう), 技術分野の木工の匠 (市販キットを用いた木工作品製作) およびロボットコンテストからなる。すべての競技は毎年行われる全国中学生創造ものづくりフェアにおける競技大会の規定を参考に企画され, 授業の内容に即したレギュレーションを定め行っている。ロボットコンテストでは 8 月に事前講習会を本学教員が行っている。講習会において本学学生の製作したロボットを参考にデモンストレーションを行う。フェア当日には学生が全面的にサポートすることにより, 現職教員や中学生とのコミュニケーションを図る。加えて, イベントの運営方法を学ぶ</p>
成 果	<p>本学教員と中学校教員との共同作業により両者のコミュニケーションが確立される。学生にとって教育実習以外の活動で現職教員と共同作業を通じて良好な人間関係を築くことができる。また, 中学生が競技会に参加することで, ものづくりの喜びを実感し, 技術・家庭科の学習成果を発揮する機会をもたらすことができる。加えて, 技術・家庭科の学習内容を社会に周知する機会となる。</p>

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	エデュケーションカフェ
日時 (期 間)	2016年12月17日
場 所	北海道教育大学旭川キャンパス
参加人数	大学生10名・高校生35名
担当者	広報委員会
概 要	<p>本事業は、旭川近隣の、学校の教師を目指し、本学に興味・関心を持つ高校2年生を対象に、授業案作成と模擬授業を体験してもらうことを中心としたものである。「先生になって学校の授業をしてみよう!」とのテーマの下、本年度は国語・英語・数学・技術・美術の5専攻分野に協力してもらい、大学生の指導・助言の下で、高校生が授業を組み立て、実際にグループの代表者が短時間の模擬授業を行った。</p>
成 果	

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	浜頓別町小中学校長期休業中学習会
日時 (期 間)	2016年12月26日－28日
場 所	浜頓別小学校・浜頓別中学校
参加人数	大学生6名・小学生55名・中学生12名
担当者	地域連携・貢献推進委員会
概 要	<p>本事業は、浜頓別町教育委員会主催の、長期休業中に学校で学習会を行うことで、学習習慣を身につけ、学習の楽しさを教えるとともに、指導スタッフと世代間交流を実施することにより少年の健全育成を図ることを目的とするものである。午前は浜頓別小学校で、教育委員会が用意した学習プリントを中心に2時間(9:30-11:30)、午後は浜頓別中学校で、生徒の用意した教材を利用して2時間(13:00-15:00)、学習時間が取られた。一日あたり小学生は約60名、中学生は約10名が参加した。小学校の低学年及び中学年については、参加人数が多かったため、教育委員会の職員および引率教員2名も適宜サポートに加わった。</p> <p>今回は、音楽分野の学生2名と、社会科教育専攻における教職実践演習の一環として、4名の4年生が参加した(予定していた1名がインフルエンザのため参加できなくなった)。小学校では、低中高学年の3つに分かれての実施で、参加人数や難易度も大きく異なっていたため、学生の配置を工夫して臨むことができた。また、最終日には、低学年コースについて、学生提案の企画であるクイズ等が実施された。</p>
成 果	<p>本年度については、参加学生のコミュニケーション能力の高さについて、教育委員会および学校から高い評価を得ることができた。また、今回も教職実践演習の合宿も兼ねていたため、教員2名が引率する形となり、事業に適宜参加するとともに、教育委員会との協議の時間も確保することができた。</p> <p>なお、教育委員会からは、以下のようなコメントをいただいた。「中学校の教頭先生からも『またお願いします!』とのことで、次年度以降も継続していこうと思っております」。</p>


地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	北海道教育委員会「ボランティアバンク事業」にかかる 道北地域の学習サポート									
日時（期 間）	2016年12月26日～2017年2月18日									
場 所	美深町・当麻町・上富良野町									
参加人数	大学生のべ8名									
担当者	地域連携・貢献推進委員会									
概 要	<p>本事業は、北海道教育委員会が中心となって「道内の市町村等が実施する教育活動の支援を行う学生ボランティアを募集」し、本学の学校・地域教育研究支援センターが窓口となり、学生がボランティア登録を行った上で、市町村等の事業に参加するものである。</p> <p>本年度、道北地域で行われる事業への参加者が確保できなかったため、緊急に当委員会が派遣学生の手当てを行ったものである。</p> <p>なお、学生が派遣された事業は以下のとおりである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">12月25日</td> <td style="width: 60%;">美深町学習サポート事業</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>1月11日</td> <td>当麻町学習サポート事業</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td>2月18日</td> <td>上富良野町町学習サポート事業</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> </table>	12月25日	美深町学習サポート事業	1名	1月11日	当麻町学習サポート事業	3名	2月18日	上富良野町町学習サポート事業	4名
12月25日	美深町学習サポート事業	1名								
1月11日	当麻町学習サポート事業	3名								
2月18日	上富良野町町学習サポート事業	4名								
成 果	<p>大学として、実施間近の時期の要請に対して学生派遣を実現したことで、地域社会に対して一定の役割を果たすことができたことと評価することができる。上川教育局の担当者からも、感謝の言葉をいただくとともに、来年度以降の取り組みについて、より学生が参加しやすくなるよう対応したいとのコメントがあった。</p>									

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	平成 28 年度放課後子ども教室 「子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室 2017 冬」																														
日時 (期間)	2017 年 1 月 12.13 日																														
場 所	中頓別町民センター 寿スキー場 中頓別町民体育館																														
参加人数	大学生 2 名																														
担当者	地域連携・貢献推進委員会																														
概 要	<p>本事業は、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動運営委員会が主催する、「冬季休業期間中の子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けるため、地域社会の中で、異年齢の子ども・大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、地域の特色を活かした多様な学習機会を提供し、地域教育力の向上を図ることを目的」とした事業であり、今回は、運動と学習における目的を定め、挑戦する意欲を高める活動内容で進め、児童の体力づくりと学力向上を図ることが目指された。</p> <p>日程は以下のとおりである。本学学生は、全日程のうち、前半の 2 日間を担当した。今年度の派遣学生は、スキー活動がメインになるため、スキーの経験があることが望ましく、教育発達専攻と音楽分野の 3 年生各 1 名ずつ、計 2 名に協力してもらった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">1 日目：1月12日(木)</th> <th style="text-align: center;">2 日目：1月13日(金)</th> <th style="text-align: center;">3 日目：1月15日(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30 集合・オリエンテーション</td> <td>9:45 町民センター集合</td> <td>9:30 町民センター集合</td> </tr> <tr> <td>10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)</td> <td>10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)</td> <td>9:45～スキー練習</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>11:30～スキー検定 ※検定終了次第移動・解散</td> </tr> <tr> <td>13:00～移動</td> <td>13:00～移動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:15～羊毛体験にチャレンジ</td> <td>13:15～学習(レク室)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:30～夕食作り(調理室)</td> <td>15:00～運動・レク活動(町体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:30～解散(送り)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19:00～片付け・解散(送り)</td> <td>※帰宅しない児童はそのままプ ランへ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育大旭川校2名9:00～ ※1月11日(水)前日入り</td> <td>教育大旭川校2名 ~14:30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1 日目：1月12日(木)	2 日目：1月13日(金)	3 日目：1月15日(日)	9:30 集合・オリエンテーション	9:45 町民センター集合	9:30 町民センター集合	10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習			11:30～スキー検定 ※検定終了次第移動・解散	13:00～移動	13:00～移動		13:15～羊毛体験にチャレンジ	13:15～学習(レク室)		15:30～夕食作り(調理室)	15:00～運動・レク活動(町体)			16:30～解散(送り)		19:00～片付け・解散(送り)	※帰宅しない児童はそのままプ ランへ		教育大旭川校2名9:00～ ※1月11日(水)前日入り	教育大旭川校2名 ~14:30	
1 日目：1月12日(木)	2 日目：1月13日(金)	3 日目：1月15日(日)																													
9:30 集合・オリエンテーション	9:45 町民センター集合	9:30 町民センター集合																													
10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	10:00～スキー練習 (スキー場で各自昼食)	9:45～スキー練習																													
		11:30～スキー検定 ※検定終了次第移動・解散																													
13:00～移動	13:00～移動																														
13:15～羊毛体験にチャレンジ	13:15～学習(レク室)																														
15:30～夕食作り(調理室)	15:00～運動・レク活動(町体)																														
	16:30～解散(送り)																														
19:00～片付け・解散(送り)	※帰宅しない児童はそのままプ ランへ																														
教育大旭川校2名9:00～ ※1月11日(水)前日入り	教育大旭川校2名 ~14:30																														
成 果	<p>本事業への本学の学生参加も定着し、毎年度期待される状況になっている。今後も、この状況を維持していくべく、質の高い学生派遣を行っていききたい。</p>																														

広 報 報 告 シ ー ト

担当者（課）名	浅川哲弥(旭川校理科教育専攻)
事業名称	「科学で遊ぶ冬&ジフェスティバル」への参加
日付	平成 29 年 1 月 15 日(日)
内 容	<p>平成 29 年 1 月 15 日(日)10 時 ~16 時に旭川市科学館 〈サイパル〉 特別展示室・学習研修室で開催された、サイエンスボランティア旭川、旭川市教育委員会（主管：旭川市科学館）が主催する「科学で遊ぶ冬&ジフェスティバル」に、旭川校の理科教育専攻、浅川及び化学浅川ゼミの院 1 年、2~3 年生 16 人の学生参加し、「世界に一つだけのプラバン」、「冬もあたたか入浴剤を作ろう」の 2 テーマで、子供たちを相手に一緒に活動を行いました。</p> <p>これは化学的な内容で様々なものづくりや演示実験を行うというゼミ活動の一環として行ったものです。</p> <p>当日は、保護者を含めて 3,225 人の来場者があり、子供たちと一緒に活動することができました。</p>
	

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

広 報 報 告 シ ー ト

担当者（課）名	旭川校保健体育科教育 小出高義
事業名称	中学校保健体育科「相撲」出前授業
日 付	平成 29 年 2 月 17 日～平成 29 年 3 月 1 日
内 容	<p>本事業は、平成 29 年 2 月 17 日～平成 29 年 3 月 1 日にかけて、旭川市桜岡中学校の 1 学年から 3 学年の合同体育として実施した「相撲」の出前授業となる。本件は桜岡中学校より、「相撲」の授業づくりについて研究協力を依頼されたため、小出が授業者として授業を実践し、その内容について協議会を持った。</p> <p>この授業参観および授業協議会には、釧路校の越川茂樹先生をはじめ、旭川校保健体育分野の学生 6 名が参加した。桜岡中学校長をはじめ、保健体育担当教諭を含めた協議会では、生徒の姿を通して相撲授業のあり方について、意見交換をすることができた。</p> <p>この桜岡中学校は、旭川市立第五小学校と小中併設校として、旭川市より通学区域外就学の特例校として指定されており、学校区以外から通学している子どもたちも多い。この体育授業に参加した生徒は、3 学年合わせても 14 名と少人数であった。それゆえ、教員配置数より保健体育科教員が毎年確保されるとは限らない。その際、保健体育専を専門としない教諭が、武道の授業を行うのは困難であり、その中でも授業のイメージが持ちやすい相撲の授業づくりを研究したい、という願いを受けてのものである。</p> <p>授業は、体育館に相撲マット 2 組を用意し、その周りをマット運動用のマットと柔道畳で囲い、学習の場づくりを行った。この準備と片付けには、多く時間を要するため 2 時間続きの授業とし、5 回実施することで合計 10 時間の単元を設定した。</p> <p>生徒は、事後の感想から「引き分けに終わらず、きちんと決着がつく所」や「相手に押されていたのに巻き返して勝てたとき」に楽しさを感じていた。さらに、女子の要望からは、「男女の対戦も入れたい」という積極的なものも見られた。</p> <p>教科担当の教諭からは、これまで少しの怪我や痛みでも保健室に駆け込んでいた女子が、痛みを耐えながらその場を離れることがなかったことに驚いた、と生徒の変容について述べられた。</p> <p>参観した学生からは、初めて相撲の授業を見たが、思っていたより積極的に生徒達に取り組んでいたことに驚いた。それは、体格や技術の差に関係なく「相手と勝負して勝ちたい」という武道の機能的特性に触れることができたためではないか、と意見を述べてくれた。</p> <p>なお、この授業実践の様子は、北海道経済 4 月号 (No. 580, P. 57) に掲載された。</p>

【掲載を希望する媒体】

処理区分	<input type="checkbox"/> プレスリリース <input type="checkbox"/> 記者会見 <input type="checkbox"/> 全学 WEB <input type="checkbox"/> 学報 <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> 学園情報誌 <input type="checkbox"/> 文教ニュース <input type="checkbox"/> 文教速報
------	---

地域教育連携 報告シート

テーマ (事業名)	教員志望者のグループディスカッション
日時 (期 間)	2017年3月29日
場 所	北海道教育大学旭川キャンパス第一会議室
参加人数	大学教員6名・高校教員3名・大学生10名・旭川東高生(2年生)11名
担当者	広報委員会
概 要	<p>本事業は、教員志望者や教育学を研究したいと考えている旭川東高校の生徒が、広い視野で物事を捉え、自ら問題を発見し、意欲的にその解決に取り組み、教員や教育研究者として活躍するにふさわしい資質の養成を目指すべく、教員志望者のためのグループディスカッションを開催するものである。</p> <p>今回は、「理想の学校の授業」「教科としての道徳」「SNSと教育について」の3つのテーマを立て、それぞれ高校生と大学の指導・助言者が協力してPPのスライドを作成し、ディスカッションテーマを提示し、それに従ってディスカッションを進めた。</p>
成 果	

学生ボランティア派遣事業（概要）

北海道教育大学旭川校
地域教育連携・貢献推進委員会

1. 本事業のねらい

相互協力協定を締結している北海道教育大学と旭川市との協力事業の一つとして、旭川校の学生を派遣要請のあった旭川市内の小・中学校に派遣することを通し、学生のボランティア意識の高揚や教職に求められる資質能力の向上を期待するとともに、確かな学力や豊かな人間性などの育成を目指し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな教育活動を支援することにより、地域社会への貢献と旭川校の実践的教育研究の充実を図る。

2. 事業開始

2005（平成 17）年（後期 12 月）

* 当初、3 年計画で実施。その後、事業の成果に鑑み継続実施し、現在に至っている。

3. 活動内容

少年団活動や部活動を除く、教育課程内の教育活動（学習指導、特別支援学級支援等）

4. 学生派遣までの過程等

(1) 1 年間を前・後期の 2 期に分けて実施（前期：5 月～9 月、後期：10 月～2 月）

(2) 学生派遣までの流れ（前、後期共通）

- 1) 小中学校の申請のとりまとめ（市教委）
- 2) 説明会（大学）
- 3) 派遣校への通知（市教委）
- 4) 事前指導（大学）
- 5) 打ち合わせ（学生・派遣校）
- 6) 活動開始
- 7) 事後指導（大学）
- 8) 活動報告書の取りまとめ（大学、市教委）

(3) 活動計画書及び報告書 I・II の提出

- ・活動計画書：活動開始前に、学校との打合せ終了後に大学に提出
- ・活動報告書 I・II：活動終了後に大学に提出

(4) 学生ボランティア派遣事業連絡協議会の開催

年度末の 3 月に、旭川教育委員会・旭川市小、中学校校長会・大学の三者でその年度の事業 全体にわたっての事業報告・協議等を行い、次年度に生かす。

5. 派遣校及び学生実績数（2005年度後期～2016年度）

年度	期	小学校			中学校			派遣総数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2005(平17)	後期	28	24	97	9	6	9	106
年度	期	小学校			中学校			派遣総数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2006 (平成18)	前期	20	20	70	10	7	8	78
	後期	27	21	61	8	3	5	66
2007 (平成19)	前期	21	17	63	5	1	3	66
	後期	30	18	49	5	3	6	55
2008 (平成20)	前期	24	18	54	9	2	9	63
	後期	32	22	62	7	6	15	77
2009 (平成21)	前期	27	17	80	8	4	11	91
	後期	27	20	75	9	7	19	94
2010 (平成22)	前期	19	7	27	10	7	11	38
	後期	28	17	59	13	11	26	85
2011 (平成23)	前期	21	12	33	9	7	10	43
	後期	34	12	41	13	10	25	66
2012 (平成24)	前期	13	11	22	10	2	2	24
	後期	34	16	37	15	6	13	50
2013 (平成25)	前期	26	13	45	10	5	11	56
	後期	36	29	79	12	9	38	117
2014 (平成26)	前期	29	13	39	13	8	14	53
	後期	39	25	88	12	7	18	106
2015 (平成27)	前期	36	28	76	12	9	21	97
	後期	37	27	92	12	9	24	116
2016 (平成28)	前期	38	16	47	11	8	21	68
	後期	35	23	82	11	8	26	108

* 派遣学生数については、一人で複数校参加もあり、延べ人数を示す。

6. 活動内容の概要（2005年度後期～2016年度）

(1) 学習指導の補助

小学校における算数や中学校における数学、英語学習の補助

- ・ 中学校においては、放課後学習、長期休暇中の学習への要請が増加している。小学校においては、学力が追いつかない児童及び軽度の発達障害を持った児童への個別支援が多い。
- ・ ミシン学習、水泳学習、スキー学習における個別指導
- ・ 生活科や総合学習で校外に出かける際の引率補助

(2) 特別支援学級の児童生徒への指導補助

学習及び生活全般にわたる補助、普通学級との交流学习の際の補助、運動会や学芸会の際の補助

(3) 学校行事への補助

運動会、遠足などの補助

(4) 学校図書館運営の補助

学校図書館充実への補助、図書委員会活動への補助、本の読み聞かせ活動への補助

(5) 不登校傾向の児童生徒への指導補助

7. 成果

- * 小・中学校の教育活動の充実（上記の「活動内容」についての貢献）

- * 学級経営上の効果（学生の態度が教職員の態度や学級の雰囲気に影響を及ぼしているとの声が聞かれる）
- * 大学としての主たる目的である地域貢献に寄与するとともに、教職を目指す学生にとっての実践的資質能力の習得及び向上に大きな貢献となっている。
- * 受け入れ学校及び旭川市教育委員会にとって、欠かすことのできない事業となってきている。

8. 小・中学校からの要望

- * 本事業の継続
- * 水泳学習やスキー学習への多人数の派遣
- * 特別支援学級への継続的な派遣
- * 通年を通しての同一学生の派遣

9. 課題

- * 参加学生増への取り組み
 - ・ 前期に活動できる環境の整備，遠距離学校への派遣（自転車以外の移動手段を持たない学生が増加している傾向があり，遠方への派遣が困難）
- * 受け入れ校に，一層の負担をかけずに，受け入れ校と学生との有効な連絡方法の模索

平成28年度 授業公開講座開講一覧

前期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学史	大橋 賢一	11人
2	社会学概論	角 一典	10人
3	社会学演習 I	角 一典	3人
4	現代と社会 I	角 一典・西村 邦行	7人
5	食生活学 I	菅野 友美	2人
6	音楽教育学概説 I	芳賀 均	1人
7	中国書道史	矢野 敏文	6人
8	行書法 I	矢野 敏文	12人

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	生物化学	浅川 哲弥	4人
2	漢文学講読 II	大橋 賢一	10人
3	社会調査論	角 一典	3人
4	社会学演習IV	角 一典	3人
5	現代と社会 II	角 一典・千葉 胤久	7人
6	音楽教育学概説 II	芳賀 均	1人
7	小学校音楽科教育法AH	芳賀 均	2人
8	小学校音楽科教育法BCD	芳賀 均	1人
9	小学校音楽科教育法EFG	芳賀 均	2人
10	日本文学概論(近代)	村田 裕和	5人
11	行書法 II	矢野 敏文	12人

平成28年度 一般公開講座開講一覧

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	アウトリーチの考え方によるコンサートづくり方	芳賀 均	6人

平成28年度 大学訪問等実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	内容
28.04.19	北海道紋別高等学校(1年生)	40人	大学概要説明・施設見学・授業見学・出身学生との懇談
28.04.26	北海道遠軽高等学校(1年生)	61人	大学概要説明・施設見学・授業見学・出身学生との懇談
28.04.28	北海道枝幸高等学校(1年生)	67人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
28.05.11	北海道旭川商業高等学校(3年生)	39人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
28.08.25	中部大学第一高等学校(2年生)	28人	大学概要説明・施設見学
28.08.31	旭川市立永山中学校(3年生)	11人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
28.10.13	北海道湧別高等学校(1年生)	39人	大学概要説明・施設見学・模擬授業
28.10.28	北海道旭川西高等学校(1年生)	240人	大学概要説明・ゼミ体験学習
28.11.09	北海道士別翔雲高等学校(1年生)	41人	大学概要説明・施設見学・授業見学・出身学生との懇談
29.03.29	北海道旭川東高等学校(2年生)	14人	教員志望者のためのグループディスカッション

平成28年度 出前講座実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	講師
28.07.21	北海道旭川永嶺高等学校(2年生)	41人	教育発達専攻 特別支援教育分野 蔦森英史講師 芸術・保健体育教育専攻 美術分野 岩永啓司准教授
28.07.22	北海道旭川西高等学校(1・2年生)	43人	社会科教育専攻 栗林賢講師
28.11.02	北海道名寄高等学校(2年生)	18人	社会科教育専攻 坂井誠亮教授
28.11.11	北海道北見藤女子高等学校(1・2年生)	10人	英語教育専攻 片桐徳昭准教授
28.11.18	北海道旭川商業高等学校(2年生)	10人	芸術・保健体育教育専攻 美術分野 岩永啓司准教授
28.12.09	北海道苫小牧東高等学校(2年生)	54人	芸術・保健体育教育専攻 保健体育 分野 小出高義准教授
28.12.13	北海道旭川南高等学校(2年生)	30人	英語教育専攻 笠原究教授

平成28年度 審議会等委員派遣一覧

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市奨学生等選考委員	25.4.1～29.3.31
旭川市都市計画審議会委員	26.5.1～28.4.30/ 28.5.1～30.4.30
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会委員	26.6.1～28.5.31/ 28.6.1～30.5.31
旭川市特別支援教育推進委員会委員	26.6.1～28.5.31/ 28.6.1～30.5.31
旭川市食育推進会議委員	26.6月～28.6月/ 28.7月～30.7月
旭川市屋外広告物審議会委員	26.7.12～28.7.11/ 28.7.12～30.7.11
旭川市生活館運営審議会委員	26.7.7～28.7.6 28.7.7～30.7.6
旭川市文化財審議会委員	26.8.1～28.7.31/ 28.8.1～30.7.31
旭川市景観審議会委員	26.9.24～28.9.23/ 28.9.24～30.9.23
旭川市景観アドバイザー	26.10.30～28.10.29/ 28.10.30～30.10.29
旭川地方裁判所・簡易裁判所判事推薦委員会委員	26.12.18～29.12.17
旭川市環境審議会委員	27.2.27～29.2.26
旭川医科大学・遺伝子組換え実験安全委員会委員	27.4.1～29.3.31
北海道上川総合振興局・道北地方医療安全推進協議会委員	27.4.1～29.3.31
旭川市通年制保育園に係る認定こども園整備・運営事業者選定委員会委員	27.4.1～29.3.31
旭川医科大学・倫理委員会委員	27.4.1～29.3.31
公益信託井原長治記念育英基金・運営委員	27.4.1～29.3.31
北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	27.5.15～32.3.31
旭川市不登校児治療教育推進委員会委員	27.6.1～29.5.31
旭川市廃棄物減量等推進審議会委員	27.6.1～29.5.31
旭川市民文化会館運営審議会委員	27.7.1～29.6.30
旭川市子ども・子育て審議会委員	27.7.1～30.6.30
旭川市庁舎整備検討審議会委員	27.8.1～28.12.31
旭川家庭裁判所・家庭裁判所委員会委員	27.8.3～29.8.2
旭川市音楽堂等運営協議会委員	27.9.1～29.8.31
旭川市国民健康保険運営協議会委員	27.9.6～29.9.5

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市情報公開・個人情報保護委員会委員	27.10.1～29.9.30
旭川市工芸センター運営委員会委員	27.12.1～29.11.30
旭川市図書館協議会委員	27.12.1～29.11.30
独立行政法人大学評価・学位授与機構・国立大学教育研究評価委員会専門委員	28.1.1～29.3.31
旭川市住居表示等審議会委員	28.1.26～30.1.25
旭川市市民参加推進会議委員	28.2.27～30.2.26
旭川市消費生活会議委員	28.3月～29.3月
北海道教育庁上川教育局・北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員	28.4.1～29.3.31
北海道教育庁上川教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査会調査委員	28.4.1～29.3.31
旭川市職員相談室相談員	28.4.1～29.3.31
北海道旭川養護学校・学校評議員	28.4.1～29.3.31
北海道旭川高等支援学校・学校評議員	28.4.1～29.3.31
北海道防災会議地震火山対策部会火山専門委員	28.4.1～29.3.31
北海道大学高等教育推進機構・評価委員会委員	28.4.1～30.3.31
旭川弁護士会・綱紀委員会予備委員	28.4.1～30.3.31
旭川家庭裁判所・家事調停委員	28.4.1～30.3.31
旭川市国際交流委員会委員	28.4.12～30.4.11
文部科学省初等中等教育局・教員資格認定試験問題作成委員会委員	28.4.25～29.3.31
国立大雪青少年交流の家・開所50周年記念事業企画委員会委員	28.4.28～29.3.31
旭川市小中連携・一貫教育検討懇談会構成員	28.5.1～28.10.31
旭川市社会教育委員	28.5.1～30.4.30
北海道教育委員会・認定講習検討会議委員	28.5.19～29.3.31
旭川市適応指導教室運営委員会委員	28.5.23～29.3.31
上川教育研修センター・運営協議会委員	28.5.30～30.3.31
北海道教育委員会・学校力向上に関する総合実践事業アドバイザー	28.5月～29.3.31
旭川市民生委員推薦会委員	28.6.1～31.5.31
北海道教育庁留萌教育局・平成28年度留萌教育局管内特別支援連携協議会構成員	28.6.10～29.3.31
北海道立旭川美術館協議会委員	28.6.10～30.6.9
北海道教育庁上川教育局・上川管内特別支援連携協議会構成員	28.6.13

委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市合葬式施設検討整備懇談会構成員	28.6.24～29.3.31
旭川市プロポーザル(企画提案)審査会委員	28.6.29～28.8月
旭川市教育委員会・学校評議員	28.6.30～29.3.31
旭川市・教育委員会の事務に関する点検・評価に係る意見提出者	28.6.中旬～28.8下旬
旭川市博物館協議会委員	28.7.1～30.6.30
旭川市「ユニバーサル製品開発ワーキング」委員	28.8.1～29.3.31
大雪山火山防災協議会・構成員	28.8.1～29.3.31
旭川市緑の審議会委員	28.8.1～30.7.31
旭川市文化賞選考委員	28.8.下旬～29.9.上旬
北海道教育庁宗谷教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査会調査委員	28.9.1～29.3.31
北海道教育庁留萌教育局・子供の自殺が起きたときの背景調査に係る意見聴取会委員	28.9.13～29.3.31
第2次旭川市スポーツ振興計画に係る懇談会構成員	28.9月～29.3.31
旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定審査会委員	28.11.16
旭川市北彩都ガーデン指定管理者選定委員会委員	28.11.18～28.12.6
北海道教育庁学校教育局・平成28年度北海道独自の中学校英語検定有識者会議委員	28.11月～29.3.31
市立旭川病院・倫理委員会委員	28.12.27～30.12.26
旭川市あさひかわ北彩都ガーデン利用促進検討懇談会参加者	29.1.19～29.4.30
旭川市総合庁舎建替設計委託プロポーザル審査委員会委員	29.3.3～29.7.31

平成28年度 講演会等講師・助言者等派遣一覧

依頼された講演会等	開催日	対象者
北海道教育委員会公立小・中学校新任校長研修会	28.5.11	小・中学校長
上川教育局公立小・中学校新任教頭研修会	28.5.30	小・中学校教頭
S.E.N.Sの会北海道支部会継続研究会講師	28.6.25	教育関係者
宗谷教育局地域連携研修事業	28.6.30	教育関係者
北海道教育庁体育専科教員活用普及研修会	28.7.8	教育関係者
旭川市子ども総合相談センター研修事業	28.7.11	教育関係者
石狩教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅰ期研修	28.7.26	教育関係者
上川教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅰ期研修	28.8.1	教育関係者
胆振教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅰ期研修	28.8.2	教育関係者
留萌教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅰ期研修	28.8.2	教育関係者
上川管内特別支援教育ネットワーク夏期研修会	28.8.3	教育関係者
上川教育研修センター開催研修講座	28.8.3	教育関係者
留萌管内女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	28.8.9	教育関係者
国立大雪青少年交流の家・青少年教育施設を活用した国際交流事業	28.8.11	学生・留学生
宗谷教育局・地域連携研修事業	28.9.6	教育関係者
鷹栖小学校・特別支援研修会	28.9.15	教育関係者
旭川市立東明中学校・特別支援教育校内研修	28.9.21	教育関係者
全国児童自立支援施設職員研修会	28.9.28	施設職員
上川管内教育研究会各地区研究大会	28.10.3/10.5/10.12	教育関係者
旭川市小・中学校教育研究大会	28.10.18	教育関係者
名寄市へき地複式教育研究大会	28.10.21	教育関係者
胆振英語教育研究協議会研究大会	28.10.25	英語担当教員
全空知音楽教育研究大会	28.10.25	教育関係者
上川教育局体力向上課題解決セミナー	28.10.31	教育関係者
上川・旭川地区中学校・高等学校英語科連絡合同研究会	28.11.2	英語担当教員
徳島県発達障がい者総合支援センター研修講座	28.11.5	保護者・支援者等
秩父別町教育研究会	28.11.7	小中学校教員
道北地区児童館連絡協議会児童厚生員研修会	28.11.8	児童厚生員
宗谷教育局地域連携研修	28.11.8	教育関係者
オホーツク管内英語教育研究大会	28.11.11	英語担当教員
上川管内スポーツ少年団スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	28.11.12/11.13	日本スポーツ少年団指導者

依頼された講演会等	開催日	対象者
あさひかわ農業協同組合コンプライアンス研修	28.11.14 /11.15	関係職員
上川管内学校体育研究大会富良野大会	28.11.14	体育担当教員
北海道立旭川美術館ウッディ・工作アトリエ	28.11.16/29 .1.10/1.11	小学生
美瑛町体力向上先導的総合実践研修会	28.11.17	教育関係者
根室教育局地域連携研修	28.11.18	教育関係者
青森県発達障害者支援フォーラム	28.11.20	関係職員・ 一般市民
石狩教育局ほっかいどう学力向上推進事業	28.11.21	教育関係者
上川教育局学校保健総合支援事業	28.11.25	教育関係者
胆振教育局道徳教育推進教師研修	28.12.6	教育関係者
旭川市食育講演会	28.12.8	関係職員
北海道教育庁・外国語指導助手指導力等向上研修会	28.12.12	教育関係者
中富良野町立旭中小学校校内研修	28.12.15	小学校教員
上川管内女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	28.12.15	教育関係者
日高教育局えりも町教育向上対策委員会実践報告会	28.12.22	教育関係者
留萌教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅱ期研修	29.1.11	教育関係者
石狩教育局10年経験者研修(小・中学校)第Ⅱ期研修	29.1.13	教育関係者
旭川市立永山南小学校校内子ども支援研修会	29.1.16	教育関係者
旭川市立近文第一小学校校内研修	29.1.19	小学校教員
国立精神・神経医療研究センター発達障害支援医学研修	29.1.25	発達障害支援 関係者
北海道鷹栖養護学校公開授業研究会	29.2.3	教育関係者
留萌市教育委員会フォーラム	29.2.7	教育関係者・ 一般市民等
旭川市教育研究会算数・数学部総括研究大会	29.2.9	算数・数学 担当教員
釧路教育局地域連携研修	29.2.15	教育関係者
旭川少年鑑別所職員研修	29.2.21	関係職員
石狩管内女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	29.2.21	教育関係者
北海道高等学校学力向上実践事業講演会	29.2.23	教育関係者
東川町「確かな学力」の育成支援講演会	29.2.24	教育関係者
石狩教育局地域連携研修	29.2.24	教育関係者
上川教育局運動部活動指導者研修会	29.3.2	運動部活動 指導者
ほっかいどう学力向上セミナー兼地域の学力向上支援事業	29.3.3	教育関係者
名寄市立智恵文小学校校内研究	29.3.8	小学校教員